



「南信州いいむす21」新システム 申し込みの審査が進んでいます



昨年10月1日にこれまでの初級・中級・上級の区分を止め、ポイント制に、「南信州いいむす21」を変更しました。必須30、加算70、計100、事業所が事前に自らが運用できていると自己評価し、チェックしたものを提出してもらいます。審査では全ての項目を確認していきます。

これまでの審査では初級で申請すれば初級の項目だけを確認するだけでした。実際に中級の運用があったとしても初級は初級でした。そして、初級から中級、中級から上級へとというステップアップは稀でした。「うちは初級で十分です。」「中級や上級なんてとてどもとてども…」ステップアップを勧めても返ってくる答えは決まってそういう控えめなもの。



新しいポイント制での審査ではこれまでになかった嬉しい変化を感じています。新「南信州いいむす21」の仕組みに合わせて、この際、新たに環境マニュアルや取り組みマニュアルを作ってみました。どうせなら本来業務で運用している品質マネジメントシステムのなかのひとつとして位置付け、環境マネジメントシステムを構築してみました。

マネジメントシステム規格の整合化、2015年版改定で目指したことです。特に品質と環境規格の両立性です。「次はISO 14001 南信州宣言へ移行してはいかがですか?」。規格との適合を「自己決定し自己宣言する」そんなステップアップへ、そんな地域文化も、すぐそこかも知れません。

春の環境一斉行動週間の報告 「第11回竹青まつり」5/25(土)に

環境一斉行動週間

参加報告書の報告先
sakugen_co2@city.iida.nagano.jp

サクゲン・アンダーバー・シーオツ...

ご案内や通知メールや報告書では間違っただけのように表示してしまいました。「sakugen_co2」

青字のアドレスへ報告ください

事業所内の小さな取り組みが地域全体の取り組みに広がるように「2019春の環境一斉行動」が東日本大震災から8年目の3月11日(月)から3月17日(日)までの1週間で行われています。取組内容は「ノーマイカー等」「歩こう動こうプラステン」「枕元に防災セットを」の3つ。



「枕元に防災セットを」、揃えてみました。こんなメガネいつしていただろう、旅行用のスリッパもあそこにあっただな軍手はあの棚に、懐中電灯と笛は100円ショップで購入しました。メガネはそれぞれで、家族の人数分のセットを揃えました。使う必要のないことを心から願って。



「2018夏の環境一斉行動」で取り組んだ「ライトダウン」。りんご並木周辺ほかで行われる「竹青まつり」、その参加も取り組みとしました。「第11回竹青まつり」が5月25日(土)に行われることが決まりました。「でんきを消してスローな夜を。」緑のカーテン、準備ももうすぐです。

「エネルギーの地消地産で 地域にお金がまわる仕組み」

3月11日(月) ㈱日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介さんの講演とパネルディスカッションがありました。市役所新庁舎A棟の屋根におひさま進歩エネルギー(株)が設置した太陽光パネルの売電収益の一部を環境教育に還元するという、環境人材育成の場「飯田自然エネルギー大学」の公開講座。



◆講演要旨を環境モデル都市推進課から提供いただきました。「地消地産」と地元で消費するものは地元で算出しようという考え方で、地域内経済循環を生み出す上で重要になる。

◆イメージや空気は事実とは異なることを認識すべきである。イメージは「50年前の現実」であることが多々ある。

◆2007年対比で2017年の国内産業の伸び率をみると、訪日外国人向け産業(インバウンド消費額)の伸びが40%増と最も高く、農業が11%増、林業が5%増となっている。

◆イメージでは斜陽産業と思われている農業が、高齢者が少量高品質な卵や肉を買い求めるなど従来の消費傾向と異なる動きに基づいて農業算出総額が増加していることに基づく。

◆可住地人口密度を国内外で比較すると東京都が10,000人/km²、長野県が650人/km²、海外では500人/km²以下のオランダ、イギリス等がある。これらが意味するところは東京都が異常であることで、世界的な視野で客観的なデータをみて判断する必要があるということ。

◆「地域経済分析システム(RESAS)」で分析を行うと、飯田市のエネルギー支出金額は117億円となり、半額の約60億円を地元の再生可能エネルギーで賄う余地がある。

◆東日本大震災前後で原子力発電所の稼働停止に伴って石油輸入量が増加しているイメージがあるが、省エネルギー、再生可能エネルギーの利用により統計上は石油輸入量が減少している。

◆今後は、エネルギーの地消地産による農業や林業のてこ入れとハイテク産業の成長が必要となる。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】

福岡健志(多摩川精機㈱) 研究会事務局

takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp

小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局

kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp